

2019年2月期 第2四半期 決算発表説明会

イオンディライト株式会社

代表取締役社長 兼 社長執行役員

濱田 和成

2018年10月10日

1 2018年度上期 決算報告

2 2018年度下期の取り組み

3 イオンディライト ビジョン2025

増収増益、過去最高益を更新。計画に対し順調に進捗

	2017年度		2018年度		(億円)	
	上期 (構成比)		上期 (構成比)		増減額	増減率
売上高	1,518	(100.0%)	1,538	(100.0%)	20	101.4%
売上総利益	200	(13.2%)	203	(13.2%)	2	101.4%
販売管理費	112	(7.4%)	112	(7.3%)	0	100.2%
営業利益	88	(5.8%)	90	(5.9%)	2	102.9%
経常利益	88	(5.8%)	91	(5.9%)	2	102.9%
親会社株主に帰属 する当四半期純利益	55	(3.7%)	56	(3.7%)	0	101.0%

セグメント売上高

5事業で増収 建設施工は大型工事が下期に集中、
自販機は豪雨や台風などが影響

	2017年度 上期	2018年度 上期	増減率	(億円)
設備管理	261	281	107.5%	
警備	217	220	101.2%	
清掃	274	286	104.3%	
建設施工	241	216	89.9%	
資材関連	251	260	103.5%	
自動販売機	170	163	96.4%	
サポート	101	109	108.5%	
合計	1,518	1,538	101.4%	

セグメント利益

4事業で増益 建設施工はポートフォリオの組み替え、収益性改善で減収増益

警備は外注費増加が影響、自販機は収益モデルの転換途上、サポートはイオンコンパス(株)が苦戦

2017年度 上期

2018年度 上期

増減率

(億円)

設備管理

22

28

124.2%

警備

14

14

94.7%

清掃

30

33

106.8%

建設施工

19

20

104.4%

資材関連

13

14

107.0%

自動販売機

12

5

41.6%

サポート

13

12

95.8%

合計

127

128

100.5%

連結貸借対照表

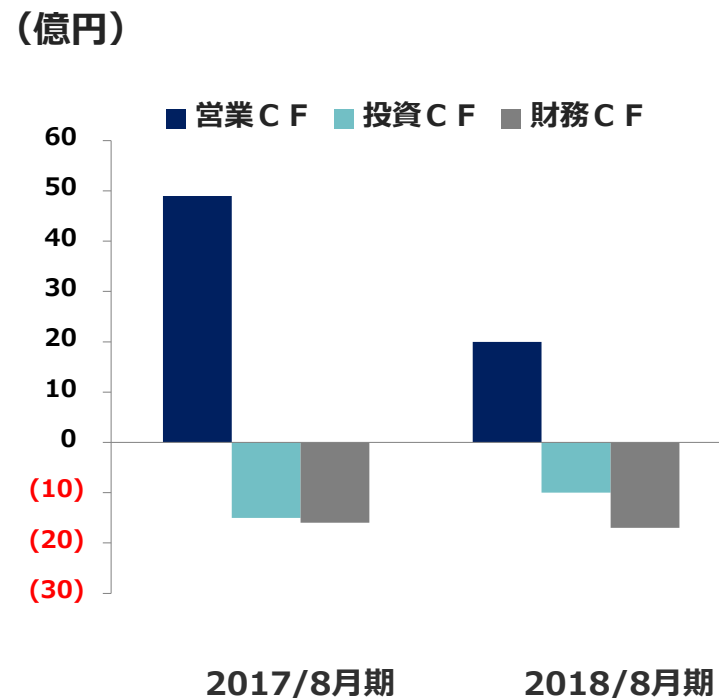
(億円)

資産の部	2018/2	2018/8	増減額
流動資産	1,202	1,230	28
有形固定資産	100	100	0
無形固定資産	80	76	▲4
投資等	85	79	▲5
固定資産	266	257	▲8
資産合計	1,468	1,487	19

負債・純資産の部	2018/2	2018/8	増減額
流動負債	434	416	▲18
固定負債	27	27	▲0
負債合計	462	443	▲19
株主資本	959	1,000	40
純資産合計	1,005	1,044	38
負債・純資産合計	1,468	1,487	19

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)		
	2017/8	2018/8	増減額
営業活動による キャッシュフロー	49	20	▲28
投資活動による キャッシュフロー	▲15	▲10	4
財務活動による キャッシュフロー	▲16	▲17	▲1
現金及び現金同等物 の期末残高	327	378	50



1 安全・安心

- 大阪府北部地震、平成30年7月豪雨へのサービスの提供を通じた災害支援
- 企業の防災・減災体制の整備を支援する提案活動の積極化

2 人手不足

- 大型商業施設の省人化モデル構築
- 清掃ロボット実用化に向けた最終検証
- 分散型管理システム「Delight Viewer」の開発
- 中国上海市に現地AI企業との共同出資による研究開発所を開設（5月）

3 環境

- ブロックチェーン技術を活用した電力取引の実証事業に参画

1 2018年度上期 決算報告

2 2018年度下期の取り組み

3 イオンディライト ビジョン2025

2018年度の通期見通しに対する進捗

下期も上期トレンドを維持し、通期見通し達成へ

(億円)	上期実績	下期計画	通期見通し	上期進捗率
売上高	1,538	1,512	3,050	50.4%
営業利益	90	95	185	48.6%
経常利益	91	94	185	49.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	56	54	110	50.9%

通期利益予算達成に向けたシナリオ

設備、清掃、資材で上期トレンドを維持、建設施工、サポートは下期巻き返し
上期苦戦した警備、自販機で収益性の改善を図り、通期利益予算達成へ

上期好調トレンドを維持する事業

- 設備、清掃、資材は上期同様、期初計画を上回るトレンドを維持
- 建設施工は下期に集中する大型工事により利益を拡大

下期に巻き返す事業

- サポート事業は上期苦戦したイオンコンパス(株)がビジネスサポート事業やイベント事業の拡大により巻き返しを図る

停滞トレンドが続く事業

- 自販機事業は収益モデルの転換途上、電子マネー型やデジタルサイネージ型への積極入替に伴う投資回収には時間を要する

イオンディライト ビジョン2025

アジアにおいて
「安全・安心」、「人手不足」、「環境」の3つを
成長戦略の柱に
社会課題を解決する環境価値創造企業を目指す



AEON delight

売上高
5,250億円

営業利益
480億円

AEONdelight Vision 2025

売上高
グローバル
TOP10

売上高
アジアNo.1

営業利益率
グローバル
トップレベル

国内は、イオンディライト経済圏の構築でシェアを拡大
海外は、資源を中国に集中投下し、物業管理業界トップ10へ

日本

- ADプラットフォームを活用し、イオンディライト経済圏を構築
- テクノロジーを活用し、お客さまのコスト削減に繋がる無人化・省人化モデルを構築し、効率化を図る
- 顧客起点の営業、他社との協業によりFM市場シェアを拡大する
- 新たな事業の柱として、エネルギーマネジメント事業を構築

中国

- 中核事業会社2社を完全子会社化
- 強みとする華東エリアでADブランドを確立し、全国展開できる事業基盤を構築
- 中国でのブランド、人材採用、経営管理体制などを構築し、中国トップ10を目指す

ADプラットフォーム

お客さま



ローカルシステム etc.

外部情報 (気象、災害 etc.)

Data Input

Data Output

Data Output

個々の課題に
最適なソリューションを提案

ADプラットフォーム

データの収集・蓄積 ⇒ 分析・加工 ⇒ 最適ソリューション

Data Input

効率化、品質向上

Data Output

Data Input

分散型管理システム「Delight Viewer」

【サービス供給体制】

AEON delight

当社子会社

協力会社
アライアンス先

AEON delight

×

当社子会社

×

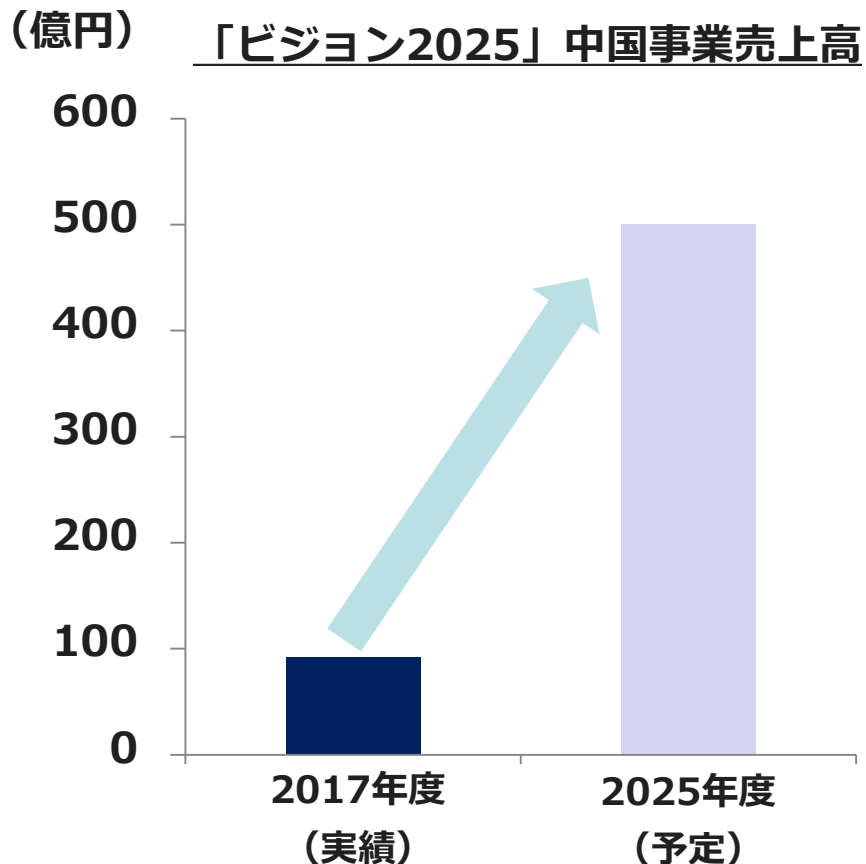
協力会社・アライアンス先

ADプラットフォーム

FM業界で圧倒的な競争優位を構築

イオンディライト
経済圏を形成

中核2社の完全子会社化によるOne Aeon Delight戦略



AD江蘇、武漢小竹の
中核事業会社2社を完全子会社化

オペレーションの統一、
連携強化、意思決定の迅速化により

中国での事業拡大を加速
物業管理業界Top10へ

「環境負荷低減」の実現に向けて新たな事業を創出

エネルギーマネジメント事業

- イオン(株)が「イオン 脱炭素ビジョン 2050」を策定し、RE100 (※1) に加盟
- イオングループの年間電力消費量74億kWh (日本全体の年間電力消費量 (※2) の約1%)

- イオングループで使用するエネルギーのマネジメントを担う企業として「イオン 脱炭素ビジョン 2050」に参画
- 地域社会に必要なエネルギー供給から施設の省エネまでを含めたエネルギーマネジメント事業を確立

環境資材事業

プラスチック廃棄物による
海洋汚染が深刻化

資材事業を原材料の見直しから
提案できる環境資材事業へと進化

※1 RE (Renewable Energy) 100…事業運営を100%再生可能エネルギーで行うことを目標に掲げる国際イニシアティブ
※2 日本全体の年間電力消費量 8,505億kWh (経産省資源エネルギー庁「平成28年度電力調査統計表」より)

FMの国際標準規格ISO 41001認証を国内初取得

ファシリティマネジメントの国際規格ISO 41001認証を 日本の企業として初めて取得



**国内で唯一、世界基準のFMを
提供できる企業に
国内外でブランディングを強化**

ISO 41001登録証授与式
(左：株式会社日本環境認証機構 立上和男社長
右：当社 濱田和成社長)

ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

- この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
これらの記述は、過去の事実だけでなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定に基づく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。
 - ◇ 全て連結を対象として記載
 - ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
 - ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

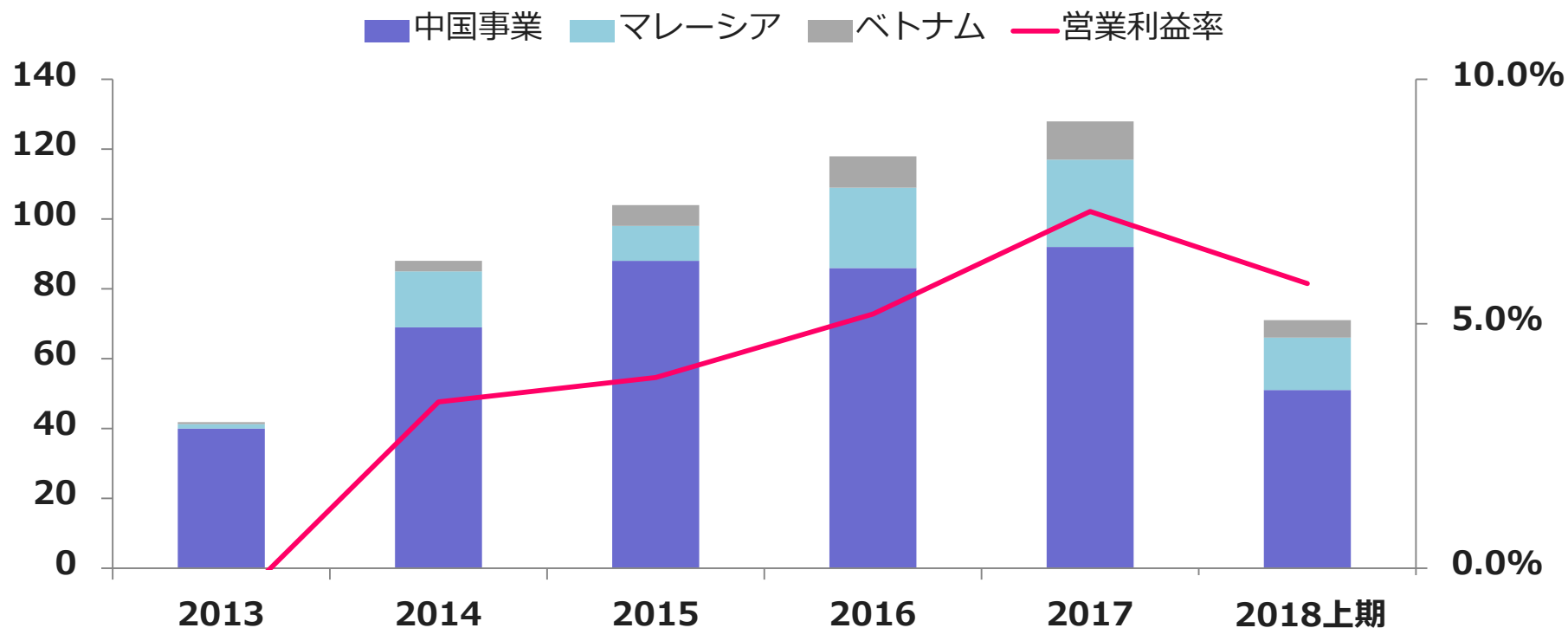
IR担当部署：ディライトコミュニケーション部
責任者名：石井 恵美子
TEL 03-6840-5712
又は、ホームページよりお問い合わせください。
<http://www.aeondelight.co.jp>

本資料の内容につきましては公表日（2018年10月10日）までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。

補足情報

アジアでの事業拡大

海外事業売上高／営業利益率推移（億円／％）



年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018上期
売上高 (億円)	42	89	106	120	129	69
営業利益率 (%)	▲1.0	3.4	3.9	5.2	7.3	5.8

※ 数値は事業会社の単純合算ベース

※ 中国では 2016年度-2017年度に不採算事業からの撤退を含む事業再編を実施

2018年度の業績見通し

(億円)	2017年度実績 (構成比)	2018年度予想 (構成比)	増減率
売上高	2,958 (100.0%)	3,050 (100.0%)	103.1%
営業利益	168 (5.7%)	185 (6.1%)	110.0%
経常利益	172 (5.8%)	185 (6.1%)	107.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	103 (3.5%)	110 (3.6%)	106.6%

2005年度以降、13期連続増配中。14期連続の増配を目指します

